

資料 1

提供年月日	平成23年6月23日
担当部課	政策調整部企画調整課
担当者	飯田
連絡先	077-587-6039

第1回野洲市地域医療における中核的医療機関のあり方 検討委員会結果報告について

1. 開催日時等

平成23年6月14日(火) 午後1時30分～午後3時30分 於：野洲市役所3階第1委員会室

2. 委員等

<出席委員>

馬場忠雄委員長(滋賀医科大学学長)

吉川武副委員長(自治連合会会長)

福山秀直委員(京都大学医学研究科教授)

堀出直樹委員(守山野洲医師会副会長)

松吉多輝子委員(P T A連絡協議会副会長)

藤井やする委員(老人クラブ連合会健康副部長)

角野文彦委員(滋賀県健康福祉部技監)

今堀初美委員(野洲市健康福祉センター所長)

<欠席委員>

佐古伊康委員(全国自治体病院協議会顧問)

木田孝太郎委員(医療法人周行会湖南病院院長)

<オブザーバー>

野洲病院(特定医療法人社団御上会野洲病院)関係者

3. 議事等

① 委員紹介及び正副委員長の選任

- ・委員長に馬場委員、副委員長に吉川委員を選任

② 経緯と課題整理、検討の進め方について 【事務局より説明】

③ 野洲病院が果たしてきた役割について 【オブザーバーより説明】

<主な意見や感想等>

- ・病院が身近にあるということは非常に便利であり、安心できる。
- ・安心の代償としての野洲病院の役割を考える必要もあるのでは。
- ・周辺地域に産婦人科が少ないように感じるので、できることなら産婦人科は残してほしい。
- ・地域の市民ニーズから考えると、野洲病院で大きな手術を希望する患者は少ないのでは。
- ・自分が大きな病気にかかった場合に、どのような病院を利用するかをイメージしながら検討を進めていくほうがよい。
- ・大学病院のような機能を備えることは無理なので、必要な機能を見極めることが大切である。
- ・市民が医療サービスという受益を得るためには、一定の市民負担が伴うことも理解してもらいながら検討を進める必要がある。

④ 今後のスケジュール等について

- ・9月か10月頃には提言をまとめる方向で検討を進める予定。

次回以降の予定は次のとおり。

第2回検討委員会 7月15日(金) 午後2時から

第3回検討委員会 8月19日(金) 午後2時から

*市民懇談会 9月上旬

第4回検討委員会 9月中旬頃